

令和元年度

公益社団法人 地盤工学会
第4回 会員・支部部会
議事録

日時：令和元年10月17日(木) 14:00~17:00		会場：地盤工学会 3階中会議室	
理事 会員・支部部長 (技術普及委員会委員長) 山口 晶 ○			
理事・副会長 木村 亮 ○	理事 奈須 徹夫 (地盤品質判定士担当) ○	理事 浅田 素之 (男女共同参画・ダイバーシティ担当) ○	
部員 石井 裕泰 ×	部員 石川 敬祐 ○	新部員 栗本 修史 ○	
部員 北田 奈緒子 ×	新部員 小林 孝彰 ○	部員 原田 克之 (継続教育システム委員会委員長) ○	
部員 松尾 賢太郎 ×	事業戦略室 樋口 俊一 ○		
事務局：伊佐治 ○ 長尾 ○ 小畑 ○			

○：出席 ×：欠席 △：未定

◎本日の議事録作成担当者（奈須）

議題：

1. 前回議事録の確認（2019年8月27日開催）

資料－1 pp.1～3

・山口部長から説明があった。

2. 理事会報告（2019年9月開催）

1) 予備報告

資料－2 pp.4～9

- ・学会誌電子化に伴い、職場班の廃止を行う。
- ・地盤工学会技術展示は試行的に行ってきたが、今後継続して実施することになった。
- ・令和元年度技術講習会企画について進めていく。
- ・絶版図書のPDF化を進める。
- ・研究発表会で学生は非会員でも会員価格で投稿できるようにする。

2) 特別会員を集めた意見交換会

- ・特別会員の意見徴収を行う。会員支部で特別会員を集めた意見交換会、会員サービス等について意見徴収を行う。
- ・アンケート案の作成→アンケート実施、テーマ徴収。→テーマに沿った意見交換会を実施。
- ・特別会員を設置した当時の趣旨を調べる。
- ・講習会の実施について、学会と企業とでは考え方が異なっているのでは。
- ・東京と支部での差も考えられるので、支部に聞いてもらう（講習会企画もしくは特別会員特権など）。
- ・質問素案を作成し、部会に提示し協議する。

3) 学部レベルの講習会企画

- ・講習会企画が専門的すぎる。学部程度の内容でもいいのでは？との意見があった。

4) 若年技術者の地盤工学基礎に関する講習会企画

- ・背景：若年技術者の教育は企業の負担となっており、地盤工学会で教育を行ってはどうか。
- ・利点：地盤工学会の入会の動機を与える。
- ・座学、グループ討議などいろいろな形態を検討するが、東京でJGS会館での実施を基本とする。
- ・単年度で終わらないよう継続性について検討が必要。
- ・学部レベルの企画は技術普及員会でやっているが、新入社員教育的な企画にはメリットもある。社会的教育も含めるとの意見があった。
- ・JABEE教育では社会人となったのちも学習継続を行うといった趣旨があるが、それを経験させる。
- ・東北支部でも若年者への技術講習を実施している。
- ・本当のニーズは設定しにくい。企業では現場に即した教育を受けるが、基本的な教育はなされにくい。
- ・入門編・初級編・中級編・上級編などに分けることで一貫性のある教育とする。
- ・事業企画戦略室で詳細企画して会員・支部部会と協議して進める。
- ・技術入門編等をテキストとして利用するなど学会の資産を有効利用する。。

3. 部全体に係る活動（理事会（他部）からの検討依頼を含む）

1) 令和2年度の活動計画・予算について

資料－3 pp.10～27

- ・会員支部部予算について説明があった。
- ・講習会費が収入のほとんどを占めており、PDF化により収益が増。12月から資料のカラー廃止を進めている。

- ・企画選別により、講習会経費の向上 1,200 千円を得た。
- ・サテライト講習でのオンデマンド経費を 30 千円/件計上する。
- ・事務費は例年並み
- ・事業計画を山口部長に出すこと。
- ・継続教育システムの予算について協議があった
- ・G-CPD 関連で、継続教育システムの電子化することで 700 千円の予算低減を行う。
- ・特別会員の CPD プログラム認定審査の審査料について協議があった。
- ・ダイバーシティ活動計画・予算について説明があった。
- ・女子中高生夏の学校については継続する。
- ・サロン・土・カフェがクローズな幹事がするので工夫をするとの意見があった。

2) 新基幹システム導入に関して

- ・総務部会の要望を受け、SmartCore (イーストゲート社)、Confit (アトラス社) の見積りを依頼した。
- ・会員の個人情報のセキュリティを強化すること。

3) 総務部関係

- ・公益出版部からの方針で会告、新入会員紹介をやめた。HP で補完しているかの確認はできない。

4) 事業企画戦略室関係

- ・若手教育企画の提案

5) 公益出版部関係

- ・学会誌電子版では新入会リストを掲載しないとの報告があった。

6) 事業企画賞の経過報告

7) その他

4. WG 活動

1) 特別会員強化 WG

資料－4 pp.28～29

①特別会員への特典

- ・会費無料化、
- ・絶版図書の PDF 化

②職場班の廃止

- ・職場班の廃止について、12・1 合併号に同封する。

③技術講習会の同伴者無料券の新設

④除籍見込会員のチェック

資料－5 pp.30～35

- ・特別会員特典の補強
- ・『公益社団法人地盤工学会規則』及び『会員及び支部に関する規程』の変更について
- ・会費振込 (払込) 方法について
- ・新入会時の入力フォームの検討

2) 地盤品質判定士関係

資料－6 pp.36～48

- ・地盤品質判定士に関する報告があった。
- ・検定試験を判定士会でフォローする。協議会からの出張者を減らし、経費低減を図る。
- ・法人化の組織・人事について報告があった。
- ・判定士会と協議会とは税制上は別の組織として会計を行うが、判定士事業としては連結する。
- ・協議会からのサポートに対して判定士会は支払いを起こすことになるため、協議会に外部のお金が還流する。

5. 所管委員会関連

資料－7 pp.49～51

1) 技術普及委員会

- ・令和元年度講習会企画は P49 のとおり。
- ・講習会の収支経過報告
- ・講習会 9 件が終了 (計画 26 講習会)
- ・上半期収入 5,779 千円 (7,604 千円)、支出 1,726 千円 (2,514 千円) 粗利 4,053 千円 [70.1%] (5,090 千円 [66.9%]) ()は予算

2) 男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会

3) 継続教育システム委員会

4) その他

- ・令和元年度 3 回目請求は 10 月に請求書送付予定 (500 件)

6. 会員事務作業

1) 請求書送付関係

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

会費請求												
・通常請求 (コンビニ収納)	第1回 6725件			第2回 1552件					第3回			
・職場班					第1回							
・口座引落	第3回				案内 送付	第1回			案内 送付	第2回		
学生会員 アンケート	発送	締切										
除籍対応	先生へ の案内						復会案 内送付			候補者 抽出		
支部交付金			第2回							第1回		
表彰												
・特別会員表彰									選抜	審議		表彰委 員会へ
・永年会員表彰									選抜	審議		表彰委 員会へ
・事業企画賞	審議	表彰委 員会へ							テーマ・審 査員 推薦依頼		確認	審査

- ・口座引落とし(第2回)・・・10月28日実施,対象は11名。
- ・除籍候補・・・前出
- ・支部交付金・・・後日メール審議予定
- ・特別・永年会員表彰・・・次月メール審議予定

7. 新入会,ダイバーシティ制度申請,被災による会費減免申請,プレミアム申請

1)10月入会申請

資料-8 pp.52~57

- ・入会:正会員14名、学生会員16名、法人会員1件について了承された。

2)10月会費減免申請

資料-9 pp.58~59

- ・減免:1名について了承された。

8. その他

9. 次回以降の部会等開催日程

令和元年度第5回:令和元年 月 日()

◎ 令和元年度 理事会 開催日程(予定含む)

① 4月19日(金) 【書面会議】

③ 6月15日(金) ※書面審議

② 5月17日(金) 14:30~17:00【JGS会館】

④ 7月26日(金)

<総会>

⑤ 9月20日(金)

・令和元年6月7日(金) 14:00~16:45【JGS会館】

⑥ 10月25日(金) ※書面審議

⑦ 11月22日(金)

⑧ 12月20日(金) ※書面審議

⑨ 1月24日(金)

⑩ 2月21日(金) ※書面審議

⑪ 3月13日(金)

⑫ 4月17日(金) ※書面審議

⑬ 5月15日(金)

★ 6月5日(金) 総会/理事会